

別冊

『女性の就労及び就職活動に関する年代・家庭環境における
問題点の情報交換検討会』議事要旨

日時：平成22年4月10日（13:00～17:00）

場所：ベルサール西新宿会議室

主催：オフィスタ

（運営：日本プランニング株式会社）

OFFISTA

オフィスタNEWS 第24号-別冊-

無許可転載不可

「女性の就労及び就職活動に関する年代・家庭環境における問題点の
情報交換検討会」進行次第

日 時：平成 22 年 4 月 10 日（土）13:00～17:00

場 所：東京都新宿区西新宿 4-15-3 住友不動産西新宿ビル 3 号館
ベルサール西新宿 2F Room3

出席者（氏名は非公開）：

- 20 代（学生就職活動者）
- 20 代（既婚）
- 20 代（独身）
- 30 代（ママさん）（欠席）
- 30 代（独身）
- 40 代（ママさん）
- 40 代（既婚）
- 50 代（ママさん）

（進行）

小松 誠 オフィスタ取締役

（事務・司会）

北條 康香 オフィスタ人事管理部

（取材・マスコミ）

大西 茂樹 日本人材ニュース

後 援：

ネクスト・インターセクション、テスコ・プレミアムサーチ（株）、（株）フリーダム、
大滝労務人事研究所、馬場実智代社会保険労務士事務所、オーサリングスタジオ、
日本人材ニュース

プログラム：

- 1.開会挨拶と会議主旨説明（13:00～13:10）
- 2.情報交換検討会（進行：オフィスタ）（13:10～16:30）
- 3.就業・労働への疑問についてオフィスタへの質疑応答（16:30～17:00）
- 4.その他

配布資料：

- 資料 No.1 「女性の就労及び就職活動に関する年代・家庭環境における問題点の情報交換検討会」参加者名簿・プロフィール
- 資料 No.2 「女性の就労及び就職活動に関する年代・家庭環境における問題点の情報交換検討会」の目的
- 資料 No.3 情報交換検討会への質問事項アンケート及び集計結果

- 参考資料 1 平成 20 年労務省労働調査結果概要／総務省労働局
- 参考資料 2 男女均等な採用選考ルール／厚生労働省、都道府県労働局
- 参考資料 3 「ハケン」のホント／社団法人日本人材派遣協会
- 参考資料 4 「雇用に関する法律改正予測」／オフィスタ NEWS
- 参考資料 5 ワークシェアリングという新時代のスタイルへ／オフィスタ NEWS 第7号
- 参考資料 6 女性就業率向上の阻害要因分析／株式会社日本総合研究所
- 参考資料 7 女性労働力確保に向けた次の一手／ニッセイ基礎研レポート 2008
- 参考資料 8 子供手当で支給に関するアンケート（産経新聞）及び子供手当で概要
- 参考資料 9 東京都内における私立幼稚園の保育料補助金比較(2008)／となりの芝生編集部
- 参考資料 10 改正育児・介護休業法について
- 参考資料 11 就職内定率最低／フジサンケイビジネスアイ
- 参考資料 12 就職活動に有利だと思うアルバイトはナニ？／ビジネスメディア
- 参考資料 13 平成 21 年度大学等卒業予定者の就職内定状況調査／厚生労働省
- 参考資料 14 勤務地としての人気・不人気エリア／月刊経営市場
- 参考資料 15 『育児・障がい・エイジレスの雇用に関する意見交換会（座談会・ヒヤリング会）』議事要旨／オフィスタ
- 参考資料 16 派遣スタッフの時給平均/人材派遣データブック（日本人材派遣協会）
- 参考資料 17 オフィスタ(日本プランニング株式会社)会社案内

（上記の配布資料は下記ホームページよりダウンロードすることができます）

<http://www.offista.com/committee/100410.html>

『女性の就労及び就職活動に関する年代・家庭環境における問題点の
情報交換検討会』参加者名簿

20代（学生就職活動者）

2011年4年制大学を卒業予定。
両親、祖母、弟2人(大学生、高校生)と同居しています。

20代（既婚）

医療・福祉業界で事務を経験。
結婚後はパートや派遣でお仕事を続けています。
夫と二人暮らし。

20代（独身）

就職活動中です。
家族構成は母、兄、私の3人です。

30代（ママさん）

小学生の男の子2人のママです。

30代（独身）

信用金庫にて10年間勤務の後、派遣などで一般事務等を経験。

40代（ママさん）

義母、義弟、娘（2歳2ヶ月）

40代（既婚）

貿易事務、テレマーケティングなどを経験。

50代（ママさん）

結婚後は専業主婦でしたが、10年ほど前からパートでの勤務。
家族は夫、母、社会人と学生の子供2人です。

（進行役）

小松 誠 オフィスタ（日本プランニング株式会社）取締役

（事務・司会）

北條 康香 オフィスタ（日本プランニング株式会社）人事管理部

『女性の就労及び就職活動に関する年代・家庭環境における問題点の 情報交換検討会』の目的

昨今の不況に伴う人材の雇用率低迷及び雇用促進について国・業界団体はじめさまざまな議論がされているが、就業を希望する女性の観点にスポットが当てられての業界の声が汲み取られておらず、意見交換の場もあまり見受けられない現状を受け、女性の年代・家庭環境の差異によるワークスタイルの異なりと各世代により抱える特有の問題点並びに就労・就職活動に関する問題点を抽出し、今後の雇用創出のための実態調査参考資料を作成し広く周知活用することを目的に、現在就職活動をされております各世代の女性よりご意見等をいただくために情報交換検討会を開催する。

検討会討議内容要旨（13：10～17：10）

1.あなたについて

Q1.家族環境・生活環境など（お子様がいらっしゃる場合は人数・学年など）

学生	祖母1人(無職)、両親(父母とも地方公務員)、別の場所に住んでる姉(正社員)、第2人(東京の大学まで実家から通う私立大学1年生、公立高校2年生)、自活は第2人があるので無理
20代独身	母、兄
20代既婚	夫と二人
30代独身	単身
30代ママさん	男の子二人。3年生、5年生。
40代既婚	配偶者有り
40代ママさん	家庭環境:義母、義弟、娘(2歳2ヶ月)
50代ママさん	夫、子供(2人、社会人と学生)、母

2.お仕事についての希望など

Q2.お仕事において、他の世代にはこれだけは負けないという点がありますか

学生	フレッシュさ、つぶしが効く
20代独身	バランス感覚
20代既婚	パソコンには抵抗がない。 まだ社会人経験が少ない分、固定概念にとらわれずに仕事ができる。
30代独身	臨機応変な対応／忍耐強さ／責任感の強さ
30代ママさん	辛抱強さ。
40代既婚	前向きな向上心
40代ママさん	普通の仕事経歴が短いものですから、素直で謙虚な気持ちだと思います
50代ママさん	社会的経験でしょうか

Q3.逆に他の世代にはかなわないと思う点がありますか

学生	仕事に対する基礎的な経験
20代独身	年上の世代に関しては経験値。
20代既婚	人脈、経験(トラブル対処能力)、電話対応や接客対応時の話し方
30代独身	活気
30代ママさん	若い世代の方に対しては、前進する強さ。上の世代の方に対しては、経験の工夫、知恵。
40代既婚	特にありません
40代ママさん	どの年代の方にも言えますが、ビジネススキル
50代ママさん	新しい言葉、PCへの抵抗のなさ。

(20代独身) : 世代間で追いつかない部分がある。経験という形で覚えていくことがあるので年上にはかなわないと思う部分は多々ある。

(20代既婚) : きれいな言葉使いが年上の人にはできているのがうらやましい。どうしても電話対応などでかなわないと思う。

(30代独身) : PCが使えることが必須の時代になってきたことを実感する。

(50代ママ) : 若い人の吸収力、特にPCの次々と進化する操作への対応などにはかなわないと感じるときがある。

Q4.業務上、得意な仕事はなんですか

学生	デザイン、話を聞いて意見をまとめる
20代独身	事務処理。
20代既婚	パソコンでの集計など。周囲とコミュニケーションをとりながら作業すること。
30代独身	顧客対応
30代ママさん	データ入力、接客。
40代既婚	OA操作、クラーク業務全般、テレサポート業務
40代ママさん	こつこつ同じ作業でも苦にならず出来る事
50代ママさん	PC作業。業者対応。

Q5.苦手な仕事はなんですか

学生	仕切って人を動かすこと
20代独身	特になし。
20代既婚	電話対応や接客対応。
30代独身	テレマーケティング
30代ママさん	営業。
40代既婚	特にありません
40代ママさん	何も教えて頂けない業務
50代ママさん	PCの新しい分野。

Q6.今一番身につけたいスキルは何ですか、またその理由

学生	秘書技能検定、どこでもあれば通用するから
20代独身	簿記2級。仕事で経理を少し経験したこともあり、興味を持ちました。
20代既婚	電話対応や接客対応。 →敬語などは知識はある程度あるが、場馴れしていないのでスムーズに言葉が出ないので。聞き取りも訓練が必要だと感じています。
30代独身	これから仕事をしていく中で必要なスキルを見つけていきたいと思いますので、現時点では明確なものはありません。
30代ママさん	パソコン、英会話。パソコンはどの企業にも必要不可欠。英会話は高時給の仕事が多い。来年、受験したい資格に関係がある。
40代既婚	薬学(医療関連の業務に携わりたい為)
40代ママさん	通常言われているビジネススキル 理由は今の社長がかなり出来る女性で、周りも離婚経験して子育てしてバリバリ働いて来た方か独身の方ばかりなので自分の弱点が痛いほど判った為
50代ママさん	イラストレーターなど。HPづくりに必要。

(オフィスタ小松) : 秘書検定が欲しいのは就職面接を勝ち抜くためか?それとも就職後のためか?

(就活学生) : 秘書検定1級を取れば自分としてもスキルアップの自信になるし、すべてのスキルが揃っている検定だと思う。

- (オフィスタ小松) : 現在の就業活動で秘書検定は有利ですか？
- (就活学生) : 自分はデザイン関係希望ということもあり資格は関係ないが、金融系企業では秘書検定を狙って取りにいている学生は多い。
- (オフィスタ小松) : 今は学生の就職活動で会社説明会すら入れないらしいが。
- (就活学生) : 携帯メールなどから予約するが20秒で満員になるものもある。PCか携帯に届いたメールを開いて急いで応募しても間に合わない。広告業界の会社説明会は飛び込みも出来るが、基本的に事前に予約を取ってから会社説明会に参加しないと歓迎されないようである。そういう部分でやる気があるかをみているのだろうか。
- (オフィスタ小松) : アルバイトでビジネスマナーを身につけたい人が増えているようだ。大学の1～2年生のうち居酒屋やファーストフード等で3～4年生から就職を見越して事務系や接客重視のアルバイトをするのが従来だったが、最近は大学1年生から就職を見越して接客等でビジネスマナーを磨けるアルバイトに就く者が多いと聞く。
- (就活学生) : 就職活動では学生時代のアルバイトも即戦力として通用するかどうか求められるので、アルバイト選びも慎重。飲食店でのアルバイトは就職活動では有利にならないので最近は人気がない。
- (オフィスタ小松) : 若い人はビジネスマナーを積極的に学びたいようですね。
- (20代既婚) : 検定よりも実務で身につけたい。いくら知識があっても現場でスムーズに使えないのではないかと心配している。
- (オフィスタ小松) : 簿記が取りたいという方もいますね？
- (20代独身) : 簿記は自分が将来独立したり結婚後に主人が独立した時に持っているサポートできるのではないかと考えている。就職に有利＝活用できないと意味がないと思っているので、取得しただけでは就職活動には関係ないと考えている。
- (30代独身) : 私はここが明確でなかったのが就職活動をうまく進められなかった原因だと思う。やりたい仕事が明確ではなかったため、これまで資格取得は深く考えてはなかった。
- (40代既婚) : 私はバブル期に新卒入社した年代なのでみんなが就業に苦労していることにあまり実感はわいていなかった。しかし、最近は年齢で厳しい状況を実感している。特に応募した企業からの年齢制限を理由としたレスポンスが早い。結婚してから派遣にワークスタイルを変えて色々な業界で仕事をしてきたためスキルは自信があるのだが、少々病気を患ってしまった。40代だが子どもも居ないし仕事も自信があるのだが、どうしても病気のことを話すと企業からシャットアウトされてしまうので話せないでいる。そんなこともあって医療関係の業界なら病気を理解して働かせてもらえるのではないかと考えて、医師などに能力をアピールできる薬検が欲しい。
- (40代ママ) : これまで劇団員として働いてきたので、一般的なOL経験がない。年齢的にも事務職経験がないことは非常に不利だとわかっているのですが、なんとかビジネススキル

を身につけたいと思っている。

- (オフィスタ小松) : 年齢の若い方のビジネスマナースキル欠如は多少ご愛敬で済むかもしれないが、40代からの人のビジネスマナースキルの有無については企業側はとてもしんどい。学生・20代の人も先程話していたように、若い世代の人が積極的にビジネスマナースキルに取り組んでいる傾向がうかがえる。このような中で30代40代のビジネスマナースキルの如何は就業後も評価がわかるポイントとして比重が高い。ビジネスマナーだけでなく、例えば販売接客業で長く勤めてきた人はビジネスマナーには長けているかもしれないが机に1日座るといふ習慣がないため一般事務への転職は努力を要するし、40代からの異業種への転職は色々壁があると思う。
- (50代ママ) : 現在はオフィスワークで働いているが転職するとしたら何か抜き出たものが出て来なければ難しいのだろうか。
- (オフィスタ小松) : 例えばPCスキルであればエクセル・ワードは今や使えて当たり前と見られていますので、履歴書にエクセル・ワードと書いただけでは人事担当者の目にはとまらないでしょう。ホームページが出来るとか画像加工ができるといったスキルなどがあると有効です。
- (40代既婚) : ホームページが出来ると書くとホームページの担当にされてしまいそう。ホームページの更新作業は結構大変だし、営業職を希望しているのに「ホームページが使えるなら総務部の方がいいのではないか？」と企業側から言われてしまっても困るし。
- (オフィスタ小松) : 今はホームページソフトも性能がいいので、更新作業もそれほど苦ではない。それに本当にホームページの担当者を求めているならば募集要件に「ホームページのできる方を募集」となっているはずですので、心配しないでよいと思う。それよりも“PCに抵抗がない“、”いざというときはホームページも手伝える“など、PCだけに限ったことではないが何かそういう安心感を企業側にPRしていくことをお勧めする。

Q7.希望の職種（営業・事務・販売等）はありますか、またその理由

学生	クリエイティブ職、マーケティング、広報など（自分の手で流行をつくり、世の中を動かしたいから）
20代独身	広報事務、またはプランニングアシスタント。
20代既婚	事務。→自分のペースで仕事が進められるので。
30代独身	営業職＝今まで経験した事がない職種であり、企業の第一線の職種である為
30代ママさん	事務。長期に渡り自分が働ける自信がある。
40代既婚	事務全般、PC操作業務（スキルを生かせる事ができるため）
40代ママさん	裏方がしたいので事務
50代ママさん	現在技術補佐、秘書業ですが、PCにかかりきるよりも対人関係がある仕事を希望。

Q8.希望の業界などありますか、またその理由

学生	広告、デザイン業界（自分の手で流行をつくり、世の中を動かしたいから）
20代独身	マスコミ、エンターテイメント企業。広告業界。
20代既婚	独立行政法人や公益法人など。 →やはり一般の企業よりほかの職員の方も落ち着きがあり、今までも比較的じっくりと仕事に取り組めることが多かったので。
30代独身	特にありません
30代ママさん	貿易関係。貿易に関する資格を取得していきたいため。
40代既婚	特にありません
40代ママさん	知らない事を覚えるのが好きなので芸能意外であれば特にありません
50代ママさん	現在、公的機関なので同じような業界がいいです。

(オノノ小松) : 上の世代の方はデスクワーク系、若い世代の方はクリエイティブ系のお仕事を希望されています。業界としても上の世代の方は官庁系をはじめとする業界であるのに対して、若い世代の方はマスコミ・広告・デザインといったいわゆる過重労働イメージの業界にも積極的に挑戦したいという表れでしょうか。全国調査でもこの辺は同じ結果がでていると思います。若い方はどんどん飛び回っていきたい、上の世代の方はどちらかというと余裕をもったワークスタイルを希望するといったところでしょうか。

Q9.どのような勤務体系ではたらきたいですか（正社員・派遣・パートなど）

学生	正社員、希望業界で働けるなら派遣社員でも構わない
20代独身	正社員
20代既婚	パートや派遣など
30代独身	正社員
30代ママさん	正社員、パート(社員登録がある場合)
40代既婚	派遣(短期・単発)もしくは、パートでのシフト業務
40代ママさん	正社員
50代ママさん	派遣、パートなど

Q10.どのようなワークスタイルではたらきたいですか（週3日勤務・フルタイム・長期・短期など）

学生	フルタイムかフレックス制
20代独身	フルタイム
20代既婚	週3日が一番望ましいです。
30代独身	フルタイム
30代ママさん	フルタイム、長期
40代既婚	週3～4日もしくは、短期・単発
40代ママさん	子育てに障害のないフルタイム
50代ママさん	週3～4日、長期。

(20代既婚)：派遣を希望するのは扶養内であることと家事を大事にしたいという理由です。

(40代既婚)：年齢のことも考えると派遣の方がワークスタイルとしては働きやすいが、本来は正社員がいい。

(40代ママ)：ある程度の収入は必要だが9：30～のフルタイムで延長保育代が月10万円掛かっ

てしまったり、残業を頼まれて娘を犠牲にしてまで働くことを考えた結果、前職を退社した経緯がある。迎えに行く時間が遅くなると生活リズムが崩れ、娘の夜泣きなどが始まってしまった。そういった状況は子供にも自分にもストレスとなる。収入と勤務時間のバランスの難しさが問題と考えている。

(オアシス北條)：うちは幼稚園に通わせているが、保育時間が短いので帰宅後も私が仕事をしている間は1人でTVを見ていたり子供がストレスを感じているのがよくわかる。保育園に入れても夜型になってしまう。

(40代ママ)：保育園があまりない。補助金が多い区に住んでいれば時給が低くても働けるが。

(オアシス北條)：育児中の人にとっては正社員にしる派遣にしる、働く女性を支援するための環境整備がまだまだ追いついていないようですね。

Q11.残業や休日出勤はできますか

学生	できます
20代独身	考慮します。
20代既婚	基本は難しいと考えています。
30代独身	可能
30代ママさん	多少の残業は出来る。休日出勤は出来かねる。
40代既婚	case by case
40代ママさん	個人的には出来ませんが、子供の事を考えたら出来ません (してはいけない風習が有ると思います)
50代ママさん	残業可能、休日出勤可能。

Q12.通勤時間はどのくらいまで可能ですか

学生	1時間まで可能(電車、徒歩など含める)
20代独身	45分。
20代既婚	ドア to ドアで1時間～1時間半前後
30代独身	1時間以内
30代ママさん	40分。
40代既婚	-
40代ママさん	漠然ですが、自分の体力までと思っていましたが、子供が出来てからは子供の許容範囲まで
50代ママさん	1時間くらい。

Q13.希望時給とその時給を希望する理由

学生	時給1000円以上(これくらいでないとアルバイトと変わらない額の収入になってしまうから)
20代独身	1650円。これまでの時給が1650円だった為。
20代既婚	パートの場合は交通費が別で出るなら1000円位でも最低よいと思うが、交通費で実費が生じるなら1300円以上はほしいです。派遣の場合は市場の平均をみるともう少し頂けると嬉しいです。 →最寄りの路線が非常に高いため、交通費の分時給に上乗せしないと苦しいので。
30代独身	月収25万以上=これまでの年収はキープしたい
30代ママさん	1500円以上。生活のため
40代既婚	1200円～(交通費込みの時間給の為)
40代ママさん	一人で子供を育てて行けるだけの収入
50代ママさん	1200円。今がそのくらいだから。

(20代独身) : 一人で生活しているので生活するためには、時給1650～は欲しい。

(40代ママ) : 保育園を定時で帰ることができれば保育料は6万5千円くらいで済むが、残業で子供の迎えが遅れて保育時間を延長すると月額10万円にもなってしまう、生活を圧迫している。延長代のかからないような就業時間帯なら時給は安くても構わな

い。

(50代ママ) : 扶養枠内で済ませるために、時給を下げなければならないので扶養制度自体見直してほしい。

(20代既婚) : 扶養内なので安くても良い。

(オアシス小松) : 20代独身さんは生活のために1,650円は欲しいのこと。大手派遣会社であれば時給2,000円といった案件もあると思うが、そういった仕事はかなりハードなものではないか？

(20代独身) : 確かに厳しさに対しての時給であると思う。

Q14.希望として後何年、またはいつまで働きたいですか

学生 60歳 定年までできれば働きたい

20代独身 25年は、働きたいです。

20代既婚 まずは出産前まで。その後は子供がある程度大きくなったら50歳くらいまでは働きたいです。

30代独身 可能な限り長く働きたい

30代ママさん 定年を越えても働きたい。

40代既婚 10年

40代ママさん 子供が独立するまでは頑張らないといけないと思ってます

50代ママさん あと10年くらい。

(就活学生) : 子供ができれば一時休職してまた復帰したい。

(30代独身) : 結婚も出産も経験していないので、その時期になったら優先したい。やはり子育てが終わったらパートでも良いので社会復帰したい。

(50代ママ) : 私は、子供が小さいときは働かなかった。当時は専業主婦が当たり前の時代であった。子供の手が離れてから復帰して現在に至っている。

3.就職活動・就業について

Q15.何社くらい応募されましたか、またその手応えはどうですか

学生	約 25 社。なかなか書類が通らずに面接までいけない
20 代独身	5社。面談のレスポンスの評価は良かったです。
20 代既婚	前回の仕事から今回の仕事が決まるまでは、約1カ月で3社に履歴書を送り、そのうち2社から面接の連絡が、1社は書類で落ちました。今の会社は、面接の連絡が早かった方になります。
30 代独身	1年間で 14 社＝うち書類通過 4 社／採用 1 社
30 代ママさん	20社以上。面接までたどりつけることもある。
40 代既婚	5社のうち遂行業務4社
40 代ママさん	30社位 ほとんどダメでした
50 代ママさん	-

(就活学生) : 25 社にアプローチしたが書類がなかなか通過しない。選考にすらたどり着けない。

(20 代独身) : 面接慣れしていたのが良かったのか5 社中 1 社内定。

(30 代独身) : 頭の中で考えすぎて就職活動スランプに陥りそうになった。年齢で落とされるケースが多く、スキルは自信があっても応募者倍率が高すぎる。14 社応募して 1 社内定。

(40 代ママ) : ハローワークから応募しても年齢で落とされる。応募した企業から音沙汰もないので不安。不採用者に連絡しないというのはひどい。

(30 代独身) : 何社にも履歴書を送ったが、不採用でも履歴書が返却されない。個人情報が大丈夫かと心配。

(オフィス小松) : 派遣会社や有料紹介会社に仲介をお願いした方が受かりやすいという声もききますが。しかし、いづれにしても全年代で希望職種・希望業種を問わず苦戦している女性が多く、雇用環境が改善する兆しはまだまだ見えていないようですね。

(40 代既婚) : 個人で応募すると履歴書代や送料も相当額かかる。その点、派遣会社を通せば履歴書は 1 通で済むので効率がよい。

(30 代独身) : データでも紙でも構わないが、所定のフォーマットで記入項目が決まっているとアピールしやすいこともある。

(40 代既婚) : データでの履歴書のやりとりは、企業側の受け入れ態勢にもよる。

(オフィス小松) : 履歴書をメールするときは投げっぱなしではなく「メールを送りました」と 1 本

電話を入れると評価が上がります。評価というよりも確認の一報という意味でビジネスマナーの一環でしょうか。

(40代ママ) : 派遣会社にエントリーシートを送ったがほとんど落ちた。

(就活学生) : 新卒就職難で何十社と送っているのに速達代や写真代などなにかと費用がかさむ。学生には金銭的にかなり厳しい。

(ワスタ小松) : 就業難で履歴書に係る費用負担が現実問題としてあるということは気付きました。貴重なご意見に感謝します。

(40代既婚) : 履歴書は手書きとデータ印刷のどちらが良いのか？

(ワスタ小松) : データが良いと思う。しかし中には手書きの履歴書を指定される場合もあるので、一概にどちらがよいとは言えない。

Q16.仕事より優先度が高いもの、または優先せざるを得ない事例はなんですか

学生	自分の健康。心も体も両方
20代独身	家族の病気、また自己の病に遭遇した際の対応。
20代既婚	家庭。家事。やはり、夫の仕事が家庭の主であるため、家事は自分がしないとけないので、仕事はやりたくてもセーブせざるを得ないです。
30代独身	業務内容
30代ママさん	子供の体調。
40代既婚	通院
40代ママさん	子供
50代ママさん	子供の病気(特にインフルエンザなど)

(ワスタ小松) : ママさんは全員お子さんという回答。仕事よりもお子さんの方が優先度が上。正社員で残業を強いられたときに、どうしても会社の方が優先度が下なので、そこが派遣か正社員かのどちらの選択肢が自分にとって最良なのか迷う部分だと思う。

(就活学生) : 自分は体調を崩さなければ仕事が優先。

(20代独身) : 自分も仕事が優先。

(20代既婚) : 第一優先は家事。どうしても働かなければならない状態になれば働くが、そうでなければ派遣で週2~3日で働く今のスタイルを続けたい。

Q17.男性の就職活動者がうらやましいと思うときはどんなときですか？

学生	総合職に優先的に就くことができるとき
20代独身	収入が高いこと。良い仕事に就きやすい。
20代既婚	特にありません。ただ、くだらないことですがあえて言うなら、男性はスーツさえ着れば良い点。パートになってからは、仕事の際にスーツかオフィスカジュアルかで初期投資の要・不要が変わってくるので、職場の雰囲気も考えて応募先を選ぶことがあります。
30代独身	結婚や出産によってキャリアが中断される事がない
30代ママさん	自分自身のことをほぼ優先に考えて就活が出来るから。
40代既婚	特にありません
40代ママさん	手枷足枷が無いから
50代ママさん	-

Q18.就職・仕事全般において女性は有利だと思いますか？不利だと思いますか？またその理由

学生	キャリアアップという意味なら不利。有利かどうかは業界による。保守的な業界(金融、マスコミなど)は男性有利だし、美容などは女性が優遇されている
20代独身	職種業態によっては不利になることもあると思います。
20代既婚	不利。→せっかく新卒で正社員になっても、結婚や出産でやめないとイケなくなるのは女性側。育給などがあっても、仕事と家庭の両立はかなりのエネルギーが必要になると思うので。自分だけの都合でなく、家庭とのバランスで仕事を決めないとイケないので。
30代独身	年齢における価値が女性の方が不利
30代ママさん	不利。特に子供がいると。
40代既婚	不利な場合が多く感じられます。(総合的な業務に就く場合など)
40代ママさん	不利です。子供を身ごもって出産間近まで働きましたが、やはり子育ては女の仕事みたいに思われて仕事復帰する時も今も子供が居る事で「無理でしょ」と思われてしまうし、現実子供も会社以上に母親を求めますから厳しいと思います。
50代ママさん	-

Q19.企業で女性が男性より下位に見られていると思いますか？またその理由

学生	主に一般職の女性は「お茶くみと電話番しかできない」と男性に思われがちだと思う。
20代独身	女性は出産や結婚などがあるため。
20代既婚	特に感じたことはありません。 →今までの職場では女性の課長さんとかもいらっしやっただので。
30代独身	近年ではあまり下位に見られているとは思いません。
30代ママさん	その企業によりけり。
40代既婚	特にありません
40代ママさん	女性上位の職場しか経験ないので判りません。
50代ママさん	補助的役割に回ることが多い。

(40代既婚) : 大手企業では女性に役職を付けていないことが多い。総合的な仕事はやはり男性が行うという意識の企業が多い。活動的な女性が増えてきているのに反映されないのはおかしい。

(20代独身) : 女性を扱う仕事(化粧品・婦人服など)は女性の方が有利だが、総合職は不利。

(40代既婚) 転勤や出張を断る男性がいることにも驚くが、それなのに依然女性の方が不利というのはおかしい。

(就活学生) : 金融業界やマスコミ業界は男性の方が有利。

Q20.現在の就職活動において壁になっていることはなんでしょうか

学生	学生時代での経験値不足。インパクトのあることをやっておけば良かった
20代独身	雇用問題が解決されていない。
20代既婚	時間の制約。フルタイムなら求人数もまだある感じはしますが、家事と両立と考えると週3回程度の制約ができて、求人数が少なくなってしまう。
30代独身	自分のやりたい仕事 that 明確でない／応募したいと感じる求人が少ない
30代ママさん	子供のこと。
40代既婚	通院
40代ママさん	やはり子供
50代ママさん	配偶者の枠

Q21.面接などでよく聞かれることは何ですか

学生	御社を志望した理由、将来何がやりたいか、今まで頑張ってきたこと
20代独身	これまでの職務内容。
20代既婚	赤ちゃんは考えているの？とよく聞かれます。勿論そう聞きたくなる企業の気持ちはわかりますが、プライベートなことな上、できるかできないかは神のみぞ知ることなので、非常に答えにくいです。
30代独身	志望動機／これまでの成功例
30代ママさん	子供が具合悪い時に面倒をみってくれる人がいるか。子供の夏休みはどうするのか。学童にはいれているのか。残業はできるのか。また残業があった場合、子供は大丈夫なのか。
40代既婚	スキル
40代ママさん	年齢的に家族構成
50代ママさん	-

(就活学生) : あまり結婚のことは聞かれない。

(20代独身) : 独身なのでプライベートなことは聞かれない。

(20代既婚) : 独身時代から「彼氏いるの？」と聞かれた。「子供は欲しいですか？」など面接で聞かれてプライバシーの侵害で嫌な思い出がある。

(30代独身) : 結婚のことは聞かれなかった。20代のときは毎回のようには聞かれた。社会人経験が長いと仕事ができるのは当たり前なのだが、出来すぎると思われると逆に嫌がられるのでバランスが大事。

(40代既婚) : 私も職歴が長いので「こういうスキルはあるか？」とよく聞かれる。大手企業での経験が多いと「大手で長年やっていたのであればウチでは物足りないかもね」といわれることもしばしばで対応に困ってしまう。

(50代ママ) : 「あまり早く辞めないでください。」と言われます。教育職は子育てについて寛大な面もあるが、以外の企業では子育て＝早期退社とされているのでしょうか。

(40代ママ) : 子供がいるというだけで「働けますか？」と聞かれてしまう。

(20代既婚) : 子供は欲しいかと聞かれて、「欲しい」と正直に答えると採用されない。

Q22.企業側が自分に心配していることはなんでしょうか

学生	結婚したり子供を産んだら退職するのではないかと、ハードな業界なので女性が仕事をこなせるのか
20代独身	仕事をこなすことができるかどうか、またコミュニケーションスキル等。
20代既婚	出産を機に辞めるのではないかと、すぐ辞めてしまうのではないかと。
30代独身	企業風土や業務スキルにマッチしている人材かどうか
30代ママさん	どれだけ出勤できるか。
40代既婚	業務遂行
40代ママさん	子育てや急に子供が発熱して休んだり早退する事
50代ママさん	年齢？

(40代ママ) : 子供のために休まなければならないことが仕事をするうえで一番頭が痛いところだし、企業側が一番自分に対して心配している部分だと思う。通常保育園は熱が37.5度で帰されてしまうが、今、自分が利用している保育園は38.0度まで預かってもらえるので助かっている。保育園に預けられないときにはフローレンスという病児保育のNPO（非営利活動法人）をお願いしている。

Q23.就業後に不安・心配に思っていることは何ですか

学生	プライベートな時間はどの程度とれるのか
20代独身	人間関係の和に馴染めるかどうか。
20代既婚	実際の雰囲気は行ってみないとわからないので、人間関係が良好な職場かどうかは気になります。ちゃんと引き継ぎ、指導をしてくれるかなど。
30代独身	職場環境や人間関係が良いかどうか
30代ママさん	やむを得ず休んだ場合、自分では入社した日から挽回しようと思っても周囲との違いがある。
40代既婚	業務を通院の為に休む事
40代ママさん	遅番や残業が出来ない事
50代ママさん	現在は非常勤職員だが、研究にたいする予算が減ったときには仕事がなくなるのではないかと心配です。

Q24.企業や派遣会社に採用に当たって希望すること、就業後に希望・期待すること

学生	産休育休がとりやすく、復職しやすい職場の雰囲気をつくってほしい。学歴フィルターを廃止してほしい
20代独身	長期的就業が見込めること、また自分にあった職業を紹介してもらえること。
20代既婚	採用に当たっては、将来の私(出産どうこう)を考えるのではなく、今の私を見てほしいです。そして就業後、もし妊娠しても、その時は柔軟に対応して頂けると嬉しいです。
30代独身	企業と社員とのコミュニケーションが密であること。社員を大切にしてくれる風通しの良い企業であることを期待します。
30代ママさん	面接で伝えたことに関して理解をして下さり採用した場合、後から嫌がらせをしないでほしい。
40代既婚	3日/月のお休みが無理なくとれる環境
40代ママさん	理解
50代ママさん	-

(就活学生) : まだ学生なので当分先のことになりそうだが、産休制度があっても実際に使用できるのかどうかも企業選びのポイントとしている。女性の多い企業の方が制度としてしっかり整備されているのでしょうか。

(ワスタ小松) : 現実的に産休制度が充実している企業はまだまだ少ない。厚生労働省のくるみんマーク取得の有無なども判断材料にはどうか。オフィスタも現在、申請中であるが厳しい諸条件をクリアしないと認可されないなので、企業の育児・子育てへの理解度を測る目安にはなるのではないかと。

(30代独身) : 質問した時に答えをしっかりとってくれない企業が多いので、社風としてコミュニケーションをしっかりと欲したい。

(40代既婚) : 月3日病院に通院しているので休みを欲しいのだが、この条件で受け入れてくれる企業がない。また、このことで自分の評価を下げたくないのずつい仕事を引き受けてしまい負担がかかってしまう。

4.はたらくということについて

Q25.派遣というワークスタイルはあなたにとってメリットはありますか

学生	ある。残業しなくてすむのでプライベートをしっかり確保できる
20代独身	本来は正社員希望なので、就職活動中はメリットを感じられることもあるかと思いません。
20代既婚	あります。就業時間などで制約がある身にとっては、企業との間に入って交渉をしてくださる派遣のシステムは非常に助かっています。
30代独身	やりたい仕事だけに特化できること
30代ママさん	派遣会社による。
40代既婚	常時新しい業務、人脈を得る事ができる利便性
40代ママさん	急な休みに対応して下さるだろうという事
50代ママさん	今は派遣ではありません。

Q26.ワークシェアリングについてどう考えますか

学生	労働時間とリンクして給料も減るので複業、派遣のスタイルが増えると思う
20代独身	悪くないと思います。
20代既婚	とても良いことだと思います。ワークシェアリングする相手との相性が悪かった場合は難しいと思いますが、週2、3勤務を希望する主婦は多いと思うので、私は歓迎しています。
30代独身	雇用が増えるという意味では今のご時世にあっているのかもしれませんが、様々な仕事を抱えすぎてストレス社会となっている昨今において、ワーキングシェアが何かしらの解決策に繋がる可能性があるのではと感じました。日本社会にあったワーキングシェアの導入をしてほしいと思います。
30代ママさん	求職中の方々にとって助けとなると思います。また現在、職のある方々も、残業が減ることにより、家族との時間、自分の時間が増えて良いと思います。ただ、残業代が関わってくる場合はただワークシェアリングが良いとは言いがたいです。
40代既婚	case by case
40代ママさん	収入を得たい人にはメリットが無いけど、お互いの都合が良くて成立出来るのであれば良いのではないのでしょうか
50代ママさん	必要。

- (20 代独身) : 1人が1つの仕事をしていると偏るので、複数人で仕事をすれば新鮮さを保てるのではないかと思うので、その点では良い制度ではないか。
- (オフィスタ小松) : ワークシェアリングの最大の難点は管理面だと考えられます。特に事務系職種でのワークシェアは絶望的とまで言われており、オフィスタの取り組んでいる最大課題の1つとなっています。事務職でのワークシェアリングを雇用促進の第一優先順位として推進している派遣会社もオフィスタ以外には聞いたことがない。それくらい実現への難易度が高いことを実感している。
- (20 代既婚) : 2人でシェアしたとして、2人が一緒に居る日がたまにあると上手くいく。週に1回は会えると良いと思う。相手方と仲良く付き合うのが大事で、メモを残して帰る、伝わりきれなかったことは上司にお願いするといった対応がポイントではないだろうか。
- (40 代既婚) : 能力に差があると難しい。必ず一緒にいる日や管理するべき人が必要なので、社会的には必要な制度だと思うが、システム的には難しそう。
- (オフィスタ小松) : 2009年9月24日に『育児・障がい・エイジレスの雇用に関する意見交換会』（運営事務：オフィスタ）を開催し、育児をコンセプトにしたオフィスタをはじめ、障がいをコンセプトにした人材会社、エイジレスをコンセプトにした人材会社、業界団体、学識経験者を集めて検討したことがある。その中でも、事務職におけるワークシェアリングは業務の引き継ぎと管理者の分担など、その困難さを理由に現実的な導入には否定的な意見が多かった。このときの会議報告書はオフィスタのホームページ上で一般公開しているので是非参考までに読んでいただければと思う。確かに困難だからこそこの派遣会社も導入していないわけだが、オフィスタは企業コンセプトから今後も引き続き、なんとか導入への道筋を見出したと思っている。企業の協力なしには実現しないため、企業担当者へのワークシェアリングの周知とご協力を求めるとともに、実際に企業の現場で働くこととなる皆様も何かご意見やアイデアがあったらお知らせください。

Q27.派遣村やホームレスは圧倒的に男性です。この理由は何故だと思いますか

- 学生** 男性のほうが仕事における責任が重い場合が多く、女性よりも厳しい目標やノルマが設定されやすく、ストレスがたまりやすいと思う
- 20 代独身** 分かりません。
- 20 代既婚** 女性もいるが、人目あってなかなか出てこれないのだと思います。また、女性は友人宅や実家に帰るなど、普段から横のつながりを持っている人が男性より多いのかな、とも思います。
- 30 代独身** 治安的に女性が野外生活をするのは考えにくい。そうなる前に男性などに頼るなどの逃げ道が女性にはあるのかもしれない。
- 30 代ママさん** 男性社会での弱者に対して世間が厳しいのではないのでしょうか。
- 40 代既婚** 雇用条件、本人の希望が各々厳しいため
- 40 代ママさん** 弱いんじゃないですか。税金が使われる事に気分を害します
- 50 代ママさん** 男性は中途半端な就職はできないからかと思います。

(オヒスタ小松) : 最近の調査で派遣村の約8割は派遣と全く無関係のホームレスだったということが判明しています。マスメディアの過剰な報道が生んだ創作にも思えますが、みなさまにはどう映りましたか。

(20 代独身) : 派遣によりホームレス化した人と既存のホームレスが混同していた。日本人は綺麗好きだし、ホームレスの撲滅に力を入れるべきではないのか。

(50 代ママ) : 同じ能力で若い人が入ってきたら、という心配感を感じた。

Q28.女性の就業・社会進出・社会復帰についてどう思いますか

- 学生** 社会復帰はまだハードルが高い。復帰できてもパートが多く正社員は厳しいと思う。少し論点がずれるが、キャリアアップを目標に仕事に熱中する女性と、結婚相手を見つけたために一般職に就いて家事を磨く女性と二極化が激しくなると思う。社会進出については女性議員が増えれば解消される兆しがみえるかも。
- 20代独身** 好感度が持てます。
- 20代既婚** 大いに良いことだと思います。ただし、やはり家の仕事は女性がしている場合が多いと思うし、出産は女性にしかならないことなので、もっと社会・男性の理解、協力が必要だと思います。
- 30代独身** 女性が社会進出することは、一個人としてあらゆる可能性を広げる事ができて良いとは思いますが、本来人間が持っている男性らしさ(男性の役割)、女性らしさ(女性の役割)が崩れていくと世の中のバランスはどうなるのだろうと懸念されます。
- 30代ママさん** 女性も普通に働いて良いと思います。
- 40代既婚** もっと積極性をアピールすべきだと思う
- 40代ママさん** 子育てに関しては好ましく無いと思いますが、現実問題あってしかるべき事だと思います
- 50代ママさん** これからはどんどんそうなるべきだと思います。

Q29.あなたにとって仕事とはなんだと思いますか

- 学生** 自己表現のうちの一つ
- 20代独身** 人生そのものです。
- 20代既婚** 社会とのつながりを持てる場。仕事があると、大変だけど、新たな知識の習得もあったり、仲間もできたり、自分の視野が広がる感じがします。
- 30代独身** 自分を成長させてくれる糧
- 30代ママさん** 生活のため、社会への繋がり。
- 40代既婚** 自己向上心を高める事のできるもの
- 40代ママさん** 自分の居場所&生活。私が働かなくては子供のおむつを買ってあげる事も保育園にも行かせてあげる事も出来ないのです子供の為でもあります
- 50代ママさん** 自分の目で社会を見る手段。

5.特定の世代へのご質問

<独身の方へ>

Q30.結婚しても働きますか？またその理由

- 学生** 働きます。老後の分のお金を今から貯蓄しておきたい
- 20代独身** 働きたいです。
働くことの大切さを忘れたくないから。
- 30代独身** 働きたいと思う＝生活を豊かにするため(精神的にも、経済的にも)

(就活学生)：結婚や出産をしても働きたい。経済的な安定のためだけではなく、働くことで社会との繋がりを持っていたいと考える。できれば元の職場に復職したいが、派遣社員でも構わないと考えている。

<既婚の方へ>

Q31.子どもが出来ても働きますか？またその理由

- 20代既婚** 働きたいです。
→子供とずっと一緒だと、自分の世界だけになってしまうし、やはり社会との接点はほしい。それにやはりママになってもオシャレはしたいし、お小遣いは必要なので。
- 40代既婚** 働きます。(生活支援の為)

(20代既婚)：働くと思う。子供が出来ても社会との接点は必要。外に出ることで身だしなみにも気を遣うし、いつまでもきれいでいたいから。ただ残業や休日出勤は出来なと思うので、子育てや労働時間に理解のある企業がもっと増えると良いと感じる。

<ママさんの方へ>

Q32.育児と仕事の両立をどう思うか、またその際のメリットデメリットについてどう思いますか

- 30代ママさん** 両立はとても大変です。働くことによって孤独を感じない。子供との時間がほとんどなくなる。
- 40代ママさん** 私の場合は主人からの入金が無いので、私が頑張って働かなくては子供を守ってあげれないので何ともいえません
- 50代ママさん** 子供が小さい時は、やはり母親が触れる時間が長いほうが望ましいのではと思う。子供の心のサインなどを見過さずに済む、などから。しかし、仕事を持って社会とも触れている母を見て育つのも、良いこととは思うし、これからはそうなるべきと思います。

Q33.現在、お子様を面倒見ることが出来る（見てくれる）家族（親戚）が、近くにいますか。また、その方々は、就職活動に全面的に賛成ですか

- 20代既婚** いません。あえていえば、彼の親族の方が一組いらっしゃいますが、遠い親せきなので、なかなか頻繁にはお願いできないと思います。
- 30代ママさん** いません。
- 40代ママさん** 姑と同居しています
姑も働いていますので全面的ではありませんが、私の働く必要性は理解しています
- 50代ママさん** 母です。全面的に賛成ではないようです。（世代的に主婦が働くのはあまり好かない）が、現在は協力的です。

<既婚・ママさんの方へ>

Q34.育児休暇中（ないしは、結婚、育児、出産のため未就労時）に自分のビジネススキルを磨いていましたか（磨かれた場合はどんなことをしましたか）

- 40代既婚** 語学勉強
- 40代ママさん** 4ヶ月で復帰しましたのでスキルは全く磨いてません
そんな時間ありませんでした
- 50代ママさん** していませんでした。育児にかかりきってました。

<全世代の方へ>

Q35.これでまでの勤務（またはアルバイト等）において習得されたビジネススキルを低下させないための対策は実施されてきましたか（された場合、どんな対策をとりましたか）

学生	特になし
20代独身	常に勉強し続けセミナーなどの受講をしております。
20代既婚	結婚後に会社を辞めてからは、しばらくブランクは空いてしまいましたが、一度就業を再開してからは、長期のブランクは空けずに仕事を続けるようにしています。今後出産を機にブランクが長くなると思うと、不安に感じます。
30代独身	あまり深く考えたことはありませんでしたが、常にこれまでの仕事のスキルを思い出しながらより良い仕事ができるように心がけています。
30代ママさん	パソコンでのタイピングが劣らないように、自宅のパソコンで練習をしていました。
40代既婚	常に何かの仕事に就く事
40代ママさん	忘れない事
50代ママさん	特になし

Q36.現在の就職活動を行う中で、仕事に役立つような自分磨きとしてどのようなことに取り組んでいますか

学生	さまざまな物事に対して「自分ならこうする」と意見をしっかり持つこと
20代独身	新聞を読むことです。
20代既婚	自分磨きは必要とは思いつつ、なかなか特別にはできていないのが現状です。ただ、今の職場では色々な世代の方と、今までの仕事の情報をシェアすることができるので、今後の参考にはしています。
30代独身	セミナーへの参加／職業訓練学校への入学／定期的にキャリアカウンセリングを受ける
30代ママさん	ペン字の練習。
40代既婚	会話力の向上
40代ママさん	資格が無かったので資格を取りました 役には立ってませんが
50代ママさん	-

Q37.就職するに当たって、ご家族には今後どういった変化を求めますか

- 学生** 今は地元に残って欲しいと言われているが、地元は職種が少なく働きづらいことをわかってもらうこと
- 20 代独身** 変化は特に求められておりません。結婚がテーマになるのでしょうか。
- 20 代既婚** 自分のことは自分でやる、を徹底してほしいです。夫は仕事には協力的ですが、私は親元と離れていて親には協力をお願いできないので、子供ができると今まで以上に夫の協力が必要だと感じています。
- 30 代独身** -
- 30 代ママさん** 子供たちにはもう少し身体が丈夫になってほしい。
- 40 代既婚** 特に求めません
- 40 代ママさん** 特にありません
- 50 代ママさん** 朝食くらいは自分で用意して食べてくれたら助かります。

Q38.他の世代の人へ聞いてみたいこと（年代を指定しても構いません）

- 学生** キャリアアップの機会と結婚や妊娠のタイミングが重なったらどうしますか(ex.どちらか諦める、今は少し待ってもらうなど)
- 20 代独身** なぜ、雇用を増やす対策やコンセプトを増やす為の努力をせずスリム化で経費を補おうとするのかの価値観が理解は出来ても受け入れがたいのですが、若い世代をどのように活用し、導かれてゆきたいのか聞いてみたいです。
- 20 代既婚** ママさんへ
→子育てとの両立のポイントを知りたいです。また、子供が何歳くらいの頃から就業されたのかも知りたいです。
- 30 代独身** 働く上で大切に思っている価値観を全世代の方にお聞きしたいです。
- 30 代ママさん** -
- 40 代既婚** 20代の方へ 就業にあたり何か自分磨きを行っておりますか？
- 40 代ママさん** 様々な意見を聞きたいです
- 50 代ママさん** -

(50 代ママ)：若い人と価値観が異なると感じることもある。本人にそのつもりはないのだと思う

が、上から目線のような話し方に驚くことがある。

(オフィスタ北條)：プライベートの価値観＝仕事での価値観と感ずることはある。

(40代既婚)：若い方はパソコンのスキルがある。又、ひらめきや発想が全然違い、新鮮に感ずる。様々な環境が整った中で育っているのでもうらやましい。

(20代独身)：若い人が少ないので同世代がいない。自分たちはパソコンや携帯電話が普及した環境で育った。新しいものに囲まれて育ったので、出来上がった状態だと上の人に言われるのが嫌だ。OJTだけでなくもっと親身に仕事を教えてほしい。上司がまずしっかりと指示して新人を成長させるべきではないのか？新しいものを生み出すにしてもまずは潜在スキルを十分導き出して欲しい。やはり教えてもらう先輩の存在はコアな部分。道徳的なことでもあるので今はいらぬのではと思う方も多いかと思うが、実際に教えてもらえることがなければ、若い世代がいざ教えなければならぬとき、能力を発揮しなければならぬときにそれができないことに繋がりがねない。仕事を覚えることが大切なのではなく、“人から人”で教養とスキルが開花できるように、あえて人から人に教えてもらうという行為が必要なのではないか。1～2年目の部下に対して「あれやっという、これやっという」で丸投げでは成長の機会も失われる。

(オフィスタ小松)：親身になってマンツーマンでペアを組むくらいでやって欲しいという希望か？

(20代独身)：そういうものが必要。特に1年目、2年目はそうであつたらいいなど感ずる。そうしないと単にスキルが求められているだけで、希薄に思えてしまう。雑用ばかりではなんのためにやってるのかわからなくなるときがある。

(オフィスタ小松)：単に「これやっという」というのでは、たぶんそうなるだろう。

(20代独身)：それが寂しいなど思つたことが過去の職場で感じた。教えるのが難しい現状は良く分かる。しかし今からそれを意識してやっというかなければ20～30代が例えば高齢社会をどうやって支えていくのかとか、将来訪れる困難に今から準備しておかないと慌ててしまう。

(オフィスタ小松)：社内で良い上司を見つけてついていくことだろう。上司とうまが合わないなど人間関係が壊れてしまうと、教えてもらうどころか聞きに行くのも嫌になってしまうので十分注意して欲しい。ちなみに今まで叱ってくれる人はいたか。

(20代独身)：自分にはいたので恵まれていたと思う。しかし、社会に出てみると叱ってくれる人って少ないんだなど感じた。

(オフィスタ小松)：良い上司を見つけてついていくことが大事だと思います。気づいた時に怒ってくれる上司などは良い上司だと思いますし、成長のために考えがあつて丸投げしているのかもしれませんが、そういう上司に巡り合えることを願いますが。

(20代既婚)：ママさんに聞いてみたいのですが、現在、私は子供がおらず週に3～4日の勤務でも何かと精一杯の状態。家事との両立はどのようにしているのか？

(40代ママ)：モチベーションなので子供の笑顔とか何か買ってあげたいという気持ちを持つこと

ではないかと思う。子供が何歳くらいから復職かというのは家庭の事情にもよる。
余裕があればせつかなので子供と交わって過ごすのも良いと思う。

(オフィス小松)：両立しているママさんは国内にたくさんいらっしゃいますから。

(オフィス北條)：みなさん共通して言われるのは家事に手を抜くことだそうです。

(20代既婚)：家事に力を入れているとは自分では思わないが、周りに話すと完璧を求めすぎているらしい。どこかで手を抜かないとは思いますが、どこで抜いたら良いのだろうか。

(20代独身)：時々旦那さんに食事を作ってもらおうとか。私は独身だが結婚したらたまには作ってもらいたい。

(50代ママ)：私は子供が小さい頃は公立の保育園を利用したが、とても良く見てくれた。何もなくても預けたいくらいだった。

Q39.その他、ご自由な意見

(30代独身)：様々な世代の方の仕事に対する思い、価値観を聞いて、自分たちが20代のときと今の20代の方の悩みがかなり違っていることがわかった。

(40代既婚)：私は年齢が下の方と仕事をすることが多いので、年下の方の思いや考えを情報として自分に入れ込みながらやるようにしている。あれやっておいてと言われることも当たり前なのでいちいちカチンときては仕事にならない。20代、30代の方に教えてもらうことも多々あるため、20代の方と話せたことは勉強になった。

(20代独身)：心の年齢までは大人にならない。

(40代既婚)：下の方はそれで良いと思う。年齢は自然とついてくるものだし、仕事やスキルもついてくるもの。上の者は下の方を見ながら成長しなければならないが、下の方は年上の人に合わせる必要はない。もちろん何事も勉強だが、派遣先で全く知らない仕事を一からやることもあるが、分かっているから当然だろうという感じで指示される。そのような場合には前任者が残した記録やファイルを参考にやり方を探りながらとなるので時間がかかる。しかし、上から下へ教えることは必要だが、自分で調べながらやる中で勉強になることはたくさんあると思う。わからないことがあったらうやむやにしないことが重要。

(20代独身)：大切なことは自分で溜め込まずに人に聞いてみるということか？

(40代既婚)：もしくは自分で調べること。聞くことはコミュニケーションにもなるし、聞かないで分からないことを流してしまうと後で大変なことになると思う。

(オフィス小松)：ほとんどの上司は質問されれば内心嬉しいもの。上司なら誰でも部下に相談されると嬉しいと思う。

(50代ママ)：今の社会において学童保育が少ないように思う。うちの区のことなのだが、行政に訴えることで朝の時間を早くしたり夏休みにも預かったりしてもらえるようになった。

た。結構意見を汲み取ってもらえるものなので、政府や自治体にこうして欲しいと思うことがあれば相談してみると良いと思う。

(20代既婚)：住んでいるところにもよると思うが、学童保育はどの位の費用がかかるのか？

(オフィス北條)：区によって違う。お金を取るところもあるが、数千円程度でしょう。

(50代ママ)：私の住んでいる区は無料だった。

(参考)

安心して働くことができる子育て支援が急務 女性のワークスタイル意見交換会－オフィスタ

人材サービス「オフィスタ」を展開する日本プランニング（東京都新宿区、小松中子代表）は、都内で、「女性の就労及び就職活動に関する年代・家庭環境における問題点の情報交換検討会」を開催した。就職活動中の20代から50代の女性が出席し、ワークスタイルの違いや抱える課題について意見交換を行った。「働くことによって社会との接点を持ち続けたい」という意見が大半を占め、政府や自治体、企業には子育て支援や労働時間への配慮を求める声が挙がった。

40代の子育て中の女性からは「利用している私立保育園では月額6万5000円。残業で子供の迎えが遅れると延長料金が発生して月額10万円を超えてしまうので生活を圧迫している」との切実な訴えがあった。出席者が希望するワークスタイルは正社員とパートや派遣で分かれたものの、働く女性を支援するための環境整備が迫っていない現状がうかがえた。

今回の不況下で話題になったワークシェアリングには肯定的な意見が多かったものの、小松誠同社取締役からは「多様な働き方を考える上でのメリットがあると思われるが、昨年秋の意見交換会では、特に、一般事務派遣では、業務引継ぎや管理者の負担が大きくなるということから、企業担当者や専門家から否定的な意見が多かった」との紹介があった。

就職活動の状況では、大学4年生からは「すでに25社にアプローチしているが書類が通らない。インターネットで申し込む説明会もすぐに定員になり、参加すらできない」。その他の年代でも希望する仕事による違いはあるものの苦戦が続く女性が多く、雇用環境が改善する兆しはまだ見られないようだ。

同社は、「ボーナス支給制度」「ママさん派遣支援制度」等、女性の就労支援サービスを拡充しており、今回の検討会の意見も参考にして、さらに働く女性に対する支援を強化していく方針だ。

2010.4.16 付 日本人材ニュース（記事原文）

～最後に～

『育児・障がい・エイジレスの雇用に関する意見交換会』（H21.9.24 開催）に続き開催いたしました今回の『女性の就労および就職活動に関する年代・家庭環境における問題点の情報交換検討会』ですが、本会議の主観が「女性の年代・家庭環境の差異によってどのような問題点が現実問題としてあるのかを抽出し、今後の雇用創出のための実態調査参考資料を作成し広く周知活用することを目的に、現在就職活動をしている各世代の女性よりご意見をいただくための会議でした。

「この雇用不況の中で就業するのが難しい、就職には壁がある。」という声はよく耳にしますが、20代の女性と40代の女性では“壁”は異なるものだと思います。同じ30代の女性でも独身とママさんではワークスタイルも違えば希望業種や希望賃金あらゆる面で異なるものだと思います。そんな年代・家庭環境による異なりの抽出こそが本会議の趣旨でした。

ヒヤリング対象となった参加者の意見がその年代の全てを表しているわけではもちろんございませんが、単なる女性の意識調査ではなくその根底にある問題意識を抽出するための生の意見、そして雇用問題に関する要望抽出といった従来の検討会等とは一線を画するものでありました。

参加者への調査項目も仕事・就職を中心とした多岐にわたる項目についてヒヤリングを行っております。現実的に就職活動中の方々の視点で回答及び検討の場という意味でオフィスタのみならず参加者各人がとても得るものがあった会議だったと思っています。

本書は、就業において壁があり悩まれているあらゆる年代の女性へ、同様の立場の求職者の方の具体的な生の声を広くお伝えするため、また同時に女性の雇用促進に関心がある企業・団体の役職員・人事・総務関係者の皆様に本会議趣旨をお伝えし検討内容をオープンに情報提供することにより、参考資料として是非ご活用いただくために本報告書を取りまとめた。

最後にこの場を借りて、ご協力いただきました参加者のみなさま並びにご後援賜りましたネクスト・インターセクション、テスコ・プレミアムサーチ（株）、（株）フリーダム、大滝労務人事研究所、馬場実智代社会保険労務士事務所、オーサリングスタジオ、日本人材ニュース各位にはお礼申し上げます。

平成22年5月5日
会議主催者 オフィスタ